

「近江大橋の維持管理のあり方を考える検討会」について

平成23年度11月議会における附帯決議をふまえ、「近江大橋の維持管理のあり方を考える検討会」を設置しました。

検討会では、近江大橋有料道路における将来の維持管理の財源について検討するため、将来の維持管理の財源確保に関することと、無料化による経済波及効果や周辺道路への影響の把握に関することを議論頂くこととしています。

これまでに3月と5月の2回開催したところで、今後、3回程度検討会を開催する予定です。

1. 委員構成

6名：学識経験者2名、行政委員2名（大津市・草津市）、公募委員2名

2. 開催状況

<第1回検討会>

開催日時：平成24年3月26日 15:00～17:00

議題：(1) 検討会の設置経緯について
(2) 滋賀県道路公社の概要および経営状況について
(3) 近江大橋の維持管理の状況について

主な意見要旨

- ・最適な道路利用という観点から、1年あたりの近江大橋の維持管理費や今後も使い続けていくための修繕費などの総コストを算出する必要がある。
- ・近江大橋を道路のネットワークで考え、その役割を評価する必要がある。
- ・どのような利用のあり方が望ましいのか、そのための料金とはどのようなものなのかといった議論も必要だ。
- ・将来的に車を利用する人がお金を払うのは当たり前前の時代になってくるのかもしれない。
- ・橋梁を架け替えることも考えておく必要がある。

<第2回検討会>

開催日時：平成24年5月23日 10:00～12:00

議題：(1) 今後の維持管理費について
 <近江大橋の維持管理費および維持修繕費>
(2) 維持管理の財源について
 <現行制度の一覧表>
(3) 社会実験について
 <県内外の社会実験>

主な意見要旨

- ・無料開放と維持管理有料道路以外の方法は難しいのではないかと。
- ・維持管理有料道路とするには維持修繕に多額の費用を要するという条件があるので、一般道路の維持管理費と比べて近江大橋がどの程度大きいのかを整理してほしい。
- ・維持管理分だけを料金徴収する場合は、どれくらいの料金設定となるのか試算値を示してほしい。
- ・無料開放した場合の影響をもう少しわかりやすく整理してほしい。
- ・社会実験によって明らかに出来ることと、明らかにすることが非常に難しいことがある。出来ないとはなかなか言い切れないが、長期間やった場合でも経済波及効果をとらえるには適しているとは言えないようだ。
- ・社会実験において得られる成果が調査費用に見合うものになっているのかどうかの議論も必要である。

3. 今後の予定

■ 第3回開催予定：7月中旬

- ・維持管理費用について：将来にわたり維持管理が継続できる方策を議論
- ・社会実験について：幅広い議論を踏まえ方針・内容を議論

(第3回検討会に向けての準備予定資料)

- ①近江大橋の維持管理費と一般県道の維持管理費の比較
- ②維持管理のみの場合の通行料金の試算結果
- ③社会実験の事例（高速道路の無料化社会実験の効果）
- ④調査にかかる費用の試算

■ その後、年内に2回程度開催予定

- 社会実験については、検討会での議論を踏まえ、やり方等を決定していく予定